

事例名			
生成 AI が作成した現代語訳を検討する			
校種・学年	高等学校・3年		
教科・科目・単元・題材	国語科・古典探究・作り物語2・『源氏物語』「橘の小島」		
学校名〈任意〉	京都府立京都八幡高等学校 (北キャンパス)	事例報告者氏名〈任意〉	田丸 健一
機能名(アプリ名)	生成 AI (Copilot)		
ICT 活用のポイント			
<p>生成 AI に古文を現代語訳させ、その訳をスクリーンに表示する。</p> <p>省略を補う、指示語を明確にする、単語や人物関係の誤りを正す等のプロンプトを生徒が送り、適切な現代語訳に近づくよう、やり取りを繰り返す。やり取りを繰り返す中で、本文理解を深められる。</p> <p>探究活動を行った際に、生成 AI を無批判に受け入れている様子が見受けられたため、ファクトチェックや批判的思考の重要性を実感させることも目的の一つとする。</p>			
活用場面			
<p>「橘の小島」の本文「かの人のお気色にも、いとどおどろかれ給ひければ、あさましようたばかりておはしましたり。～今もかき曇りて降る。」を Copilot に現代語訳させる。特に第1文「かの人のお気色にも、いとどおどろかれ給ひければ、あさましようたばかりておはしましたり。」に着目した。</p> <p>*奇数は生徒のプロンプト、偶数は Copilot の回答</p> <p>1「現代語訳をしてください」</p> <p>2「あの方のご様子にも、ますます驚かれていらっしゃったので、呆れるほどに慌ててお出かけになった。」</p> <p>3「「かの人」は誰のことですか」</p> <p>4「物語の中心となる高貴な女性のことです」</p> <p>5「これは源氏物語の一節で、「かの人」は薫で、女性は浮舟です。再度現代語訳してください。」</p> <p>6「薫のご様子にも、浮舟はますます驚かれてしまったので、呆れるほどに慌ててお出かけになった。」</p> <p>7「薫が浮舟を連れ出すのではなく、匂宮が連れ出すのです。」</p> <p>8「匂宮のご様子にも、浮舟はますます驚かれてしまったので、呆れるほどに慌ててお出かけになった。」</p> <p>9「「かの人」は薫です。薫の様子に勘づいた匂宮が浮舟を連れ出すのです。」</p> <p>10「薫のご様子に、匂宮はますます驚かれたので、呆れるほどに慌てて浮舟を連れ出された。」</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>生成 AI が作成した現代語訳を検討することで、本文内容を再確認するとともに、批判的思考を養うこと、現代語訳をする際に人物関係を適切に把握することが不可欠であることの認識を深めることを目的とした。文法や単語の意味は正確であるという前提に立っていたが、人物関係や「おはします」の目的語だけでなく、「おどろく」の意味も不正確であった。助動詞や助詞の細かいニュアンスについても検討の余地がある。</p> <p>一連の授業を通じた生徒の気づきとしては、古文を現代語訳する際に人物関係を適切に把握することの重要性、生成 AI の特性と不得手とする分野、生成 AI を無批判に受け入れることの危うさなどがある。</p>			